

令和6年度
第1弾

製造分野における DX推進 DX

コース番号：129-005

2024年

開催日時：7月18日(木) 募集締切：7月4日(木)

9:30~16:30 (6時間)

開催場所：ポリテクセンター山梨 (裏図参照)

定員：16名程度 (先着順)

推奨者：中堅層~管理者層

受講料

3,300円 (税込)

コースの狙い

生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解します。

主な訓練内容

◎ 製造業におけるDXの理解

- (1) DXとは
- (2) DXで目指したいこと
- (3) なぜDXが必要か
- (4) DXの3つのステップ
- (5) データ利活用に向けて
- (6) ITが無くてもできるDX
- (7) 製造業におけるDXのステップ別ポイント

◎ DXの実現事例

- (1) 製造プロセス分析/QC工程表と連動したIoT導入事例
- (2) 検査のペーパーレスとデータ利活用による品質管理への展開事例
- (3) 拠点間QCD情報のリモート入手・展開マネジメント事例
- (4) TPM活動と連動した設備稼働率からの改善事例
- (5) サプライヤーとの設計・製造データ連携事例
- (6) FMEAデータベース構築事例
- (7) 生産計画変更情報の変化点管理見える化事例
- (8) 管理部門の業務効率化、ペーパーレス事例

◎ DX推進の目標設定と解決策

- (1) ビジネス目標とDX推進目標の連動~And志向
- (2) 業務プロセス分析推進人材、データ分析推進人材等の育成とプログラム作成
- (3) IoT、センサー、ICTの導入計画とROIの検討

◎ DX推進の計画と実行

- (1) 中長期DX計画の立案と予算確保
- (2) フロントローディング型実行計画の立案
- (3) 人材ロードマップと教育計画の立案【演習】

○ 訓練内容のポイント!

- ・製造DX推進に向けて、様々な業種の他社事例を踏まえながら、DXで目指す目標を確認します。
- ・自社でDX推進するための自社業務の分析、革新アプローチ、実施課題を議論し、実践的な研修内容となります。

実施機関&講師

株式会社
日本能率協会
コンサルティング
みらい株式会社
シニアディレクター



野元 伸一郎氏

講師Profile

- 元(株)日本能率協会コンサルティンググローバル開発革新センター長、知識工学博士、MOT修士、経営工学修士。
- 専門はR&Dプロセス革新、DX、ナレッジマネジメント、ASEANビジネス革新等。北陸先端科学技術大学院大学非常勤講師。